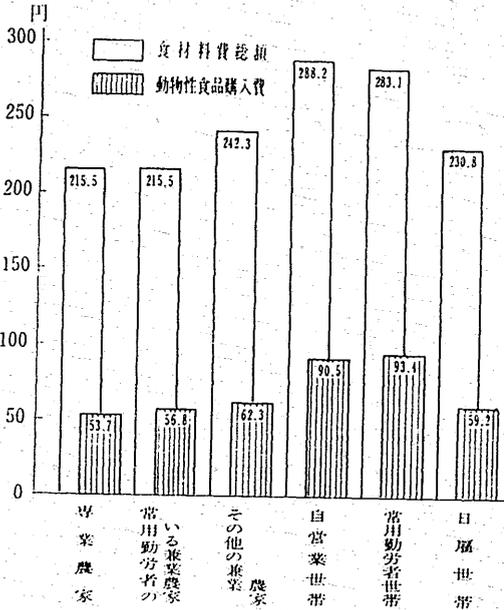
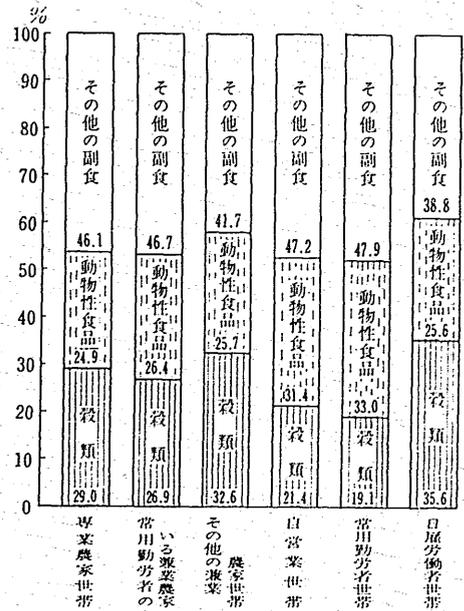


図一32 食材料費の比較(世帯業態別)



図一33 食材料費の構成比率(世帯業態別)



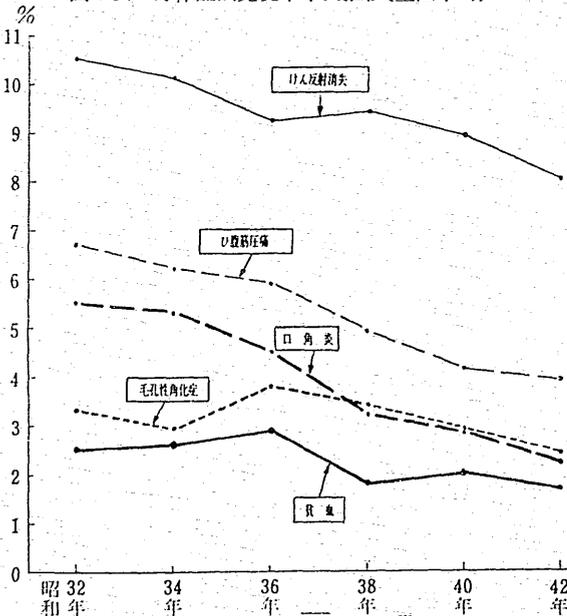
E 身体状況

1. 身体症候の発現

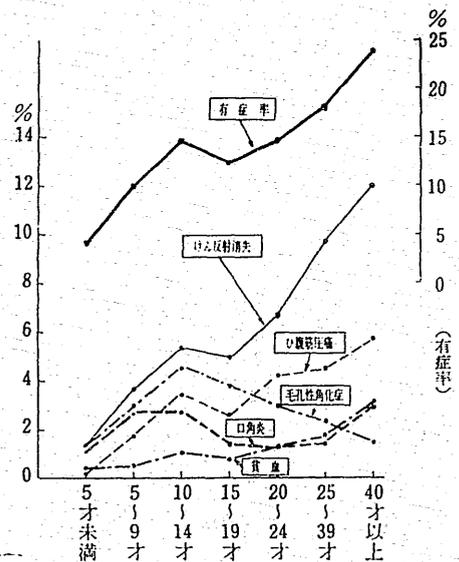
昭和42年度における国民の栄養欠陥に関係があると考えられる身体症候の発現率(有症者の割合)は16.8%である。

性別の発現状況を見ると男子13.1%, 女子19.9%であり, 従前同様に女子の発現率が男子を上回っている。

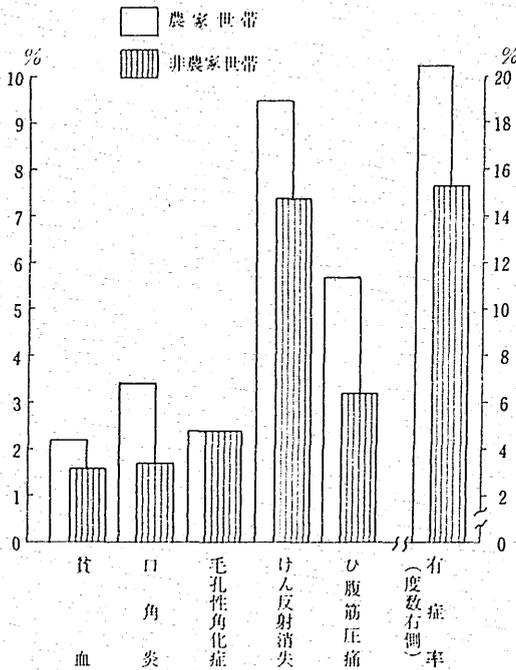
図一34 身体症候発現率年次推移(全国平均)



図一35 身体症候発現率(年齢階級別)



図—36 身体症候発現率の比較(農家・非農家別)



各症候別の発現状況について年次推移をみると図—34のとおり、各症候とも年々低下する傾向がみとめられる。

また、年齢階級別の発現状況をみた場合、図—35のとおりである。

次に農家世帯、非農家世帯の別に身体症候の発現状況を比較すると図—36のとおり、各症候とも農家世帯の発現率が非農家世帯を上回っている。

2. 体位

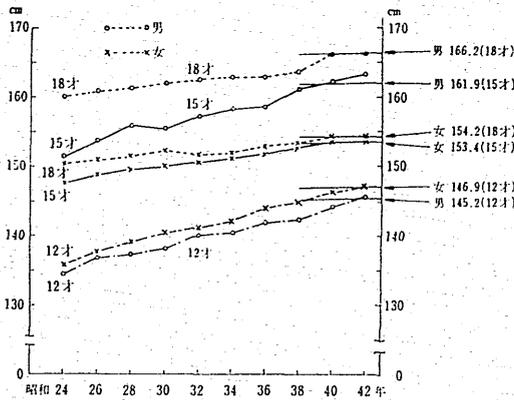
昭和42年度調査による青少年の体位は、順調な伸びを示している。

これを12才、15才、18才の年齢について推移をみると図—37、図—38のとおりである。

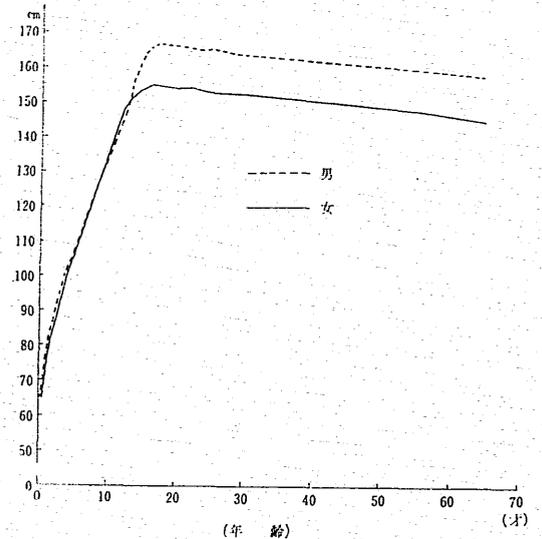
3. 血圧

昭和42年度調査における血圧の平均値は図—41の

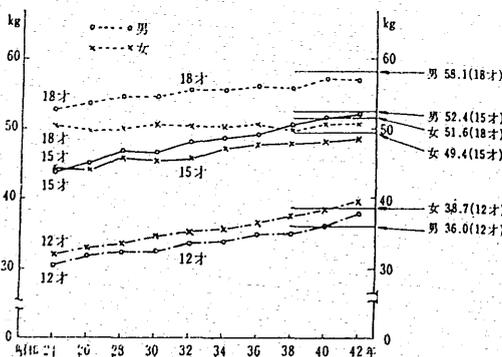
図—37 青少年の身長 annual 推移



図—39 昭和42年年齢別・性別身長曲線



図—38 青少年の体重の年次推移



とおりである。

また、業態別にみると農家世帯は図-42、非農家世帯は図-43のとおりである。

4. 握力

昭和42年度調査による全国平均の年齢階級別握力の平均値は図-44のとおりで、従前と特に変わった点は見とめられない。

図-40 昭和42年年齢別・性別体重曲線

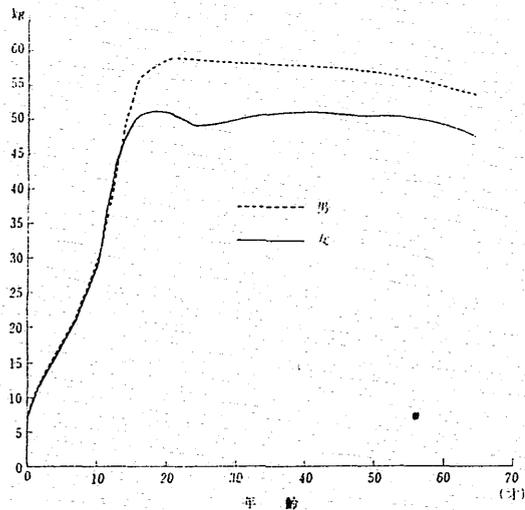


図-41 血圧の平均値 (全国)

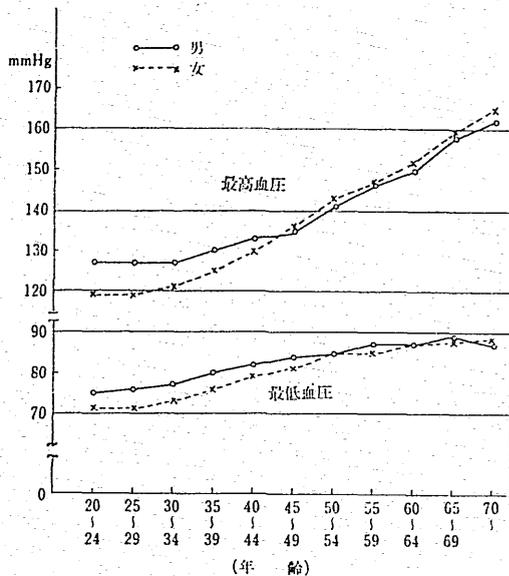


図-42 血圧の平均値 (農家世帯)

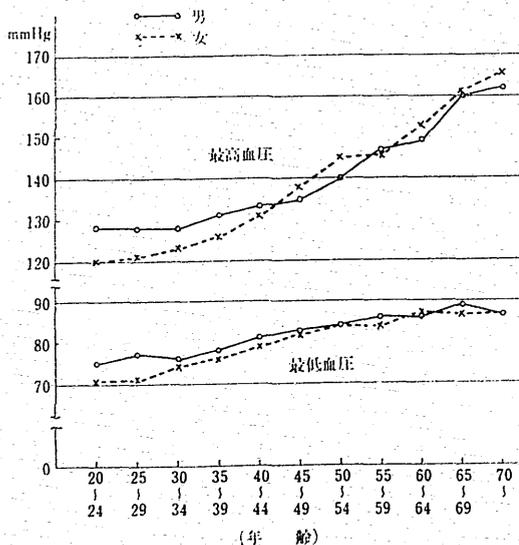
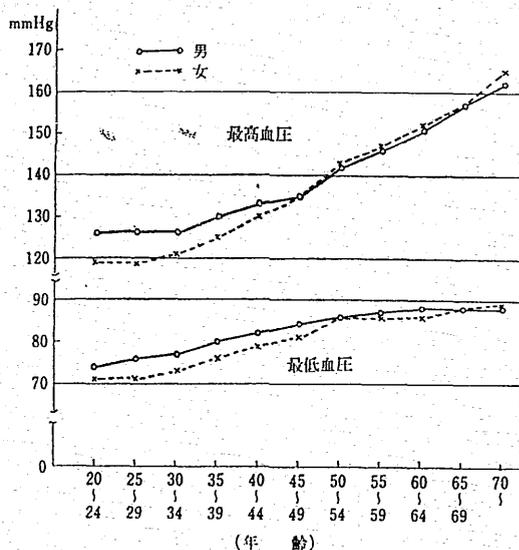


図-43 血圧の平均値 (非農家世帯)



図一44 性、年齢階級別、握力平均値の比較 (全国平均)

